



とう よう けん さ こう ぎょう かぶ しき がい しゃ
東洋検査工業株式会社

本社／和歌山市出島31-5
TEL.073-471-1311 <https://www.toyo-kensa.co.jp/>
設立／1973年(昭和48年) 従業員数／171名(2025年4月現在)



もっと、くわしく
見てみよう!

検査・調査

?モノの健康診断って何?



橋やトンネルから遊園地のアトラクションまで、
いろいろなモノが壊れていないかを調べます。

みなさんが毎日見ている橋やトンネルなどは、ずっと安全に使えるように定期的に「点検」や「検査」が必要です。私たちは、そういった生活するのにかかせない施設(社会インフラ)や工場の機械、遊園地のアトラクションなどが壊れていないかを、超音波や電磁波などの専門的な技術を使って、壊さずに健康診断(非破壊検査)をしています。



どんなモノを
調べているの?



石油タンクや船、化学プラントといった
とても大きな建造物を調べています。



トンネル



橋



石油タンク



船



化学プラント



遊園地(アトラクション)



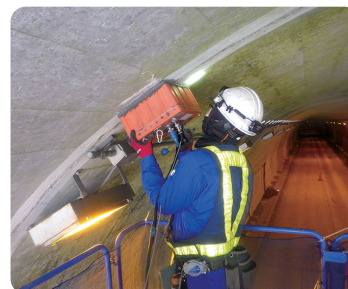
その他にも、発電所、製鉄所、鉄道、上下水道などの社会インフラや、歯車、ピストン、パイプなどの工業製品・部品も調べます。
鉄やコンクリートといった「素材」だけでなく、それらをつなぎ合わせている「つなぎ目」(溶接など)の状態も調べます。



モノの異常を
どうやって調べるの?



最新技術と熟練した人の技能で
モノの危険を事前に発見します。



トンネル レーダ調査

電磁波を使って、トンネルのコンクリートの厚さや裏側に空洞がないか調べています。



トンネル目視調査

ハンマーでたたいたり、目で確認したりして、トンネルに異常がないか調べています。



地中レーダ探査

電磁波を使って、地面の下の水道管やガス管の位置を調べています。



磁気探傷検査

磁石と鉄粉を使って、つなぎ目に異常がないか調べています。



超音波探傷検査

超音波を使って、車輪に異常がないか調べています。



エックス線検査

エックス線を使って、仏像の中を調べています。

働く人の声を聞いてみよう!

Q&A



和歌山営業所
上島 健史さん

Q.この仕事を選んだ理由は?

資格を身に付けたいという思いがありました。調べてみると非破壊検査には多くの検査方法があり、それぞれに資格が必要だと知りました。資格を取得することで仕事の幅が広がり、自分自身も成長できると思いました。

Q.仕事で大切にしていることは?

チームワークと責任感です。石油タンクなど大型の構造物は5~7人で検査して、2、3か月必要です。複数の検査を期限内に完了するには、安全安心を第一に考えた個々の責任感と、仲間同士の信頼から生まれるチームワークが大切です。

Q.どんな仕事をしていますか?

インフラ調査業務の中でも、トンネルの点検・調査を5人程度のチームで行っています。全国各地のインフラ施設が対象となるので、出張の多いお仕事になりますが、出張先で地元のグルメを堪能してリフレッシュしています。

Q.仕事のやりがいは?

部下の成長を間近で見られることです。日々の業務で自ら考え、挑戦し、失敗しながらも前進する姿を見るとうれしいです。以前は自信がなかったメンバーが、チームを牽引する存在へと成長する姿を見ると、特にやりがいを感じます。



インフラ技術センター
松山 信悟さん